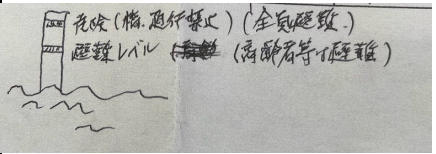


6班 横尾・四日市

タイムライン作成のためのワークシート

警戒レベル	基準 (どのタイミングで、どんな基準に従うか)	活動内容 (誰が、どのようなことをするのか)	上田市からの避難情報発令	気象庁等の情報	住民等がとるべき行動等 (上田市による)
1	・降雨、テレビ 横尾地区 水害については特別時の場合以外に避難は自宅で可か？	・自宅待機 ・テレビ、ラジオなど聞く ・情報に注視、雨雲レーダーを見る		早期注意情報 (警報級の可能性)	最新情報に注意 災害への心構えを高める
2	防災気象情報サイトの真田時雨量が20mm以上の時	・住民は上田市ポータルサイトを確認 (状況避難ルートの確認) ・役員は公民館に集まる (電話で連絡をとりあう) ・四日市橋の水位標を確認する (巡回) ・中央公民館の確認を行う (自治会長)		・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	自らの避難行動を確認 ・避難場所 ・避難方法
3	・四日市橋の水位標の印が黄色の時 消防からの水位連絡 (危険水位に近づいている) → 自治会 (長) → 高齢者を避難させる 《消防団からの情報が基準》 基に避難をする (させる)	(委員会、福祉推進委員、福祉委員) 民生委員へ連絡 自治会員への協力を依頼 ・課題 1.要支援者を知っていない (個人情報) ・自動車で中央公民館へ避難 ・中央公民館の開設 2.誰が避難をさせるのか 3.民生委員の仕事がどこまでなのかはっきりしていない (災害時何をするか)	高齢者等避難	・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	●危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等：避難を完了させるのに時間を要する住宅又は施設利用者の高齢者及び障害のある人等、及びその人の避難を支援する者
4	・四日市橋の水位標の印が赤の時 (行政への要望) 目で見る基準を作る	四日市橋等に水位が解るように水位メモリをつける (橋げたに) ・自治会長→住民へ連絡→災害区域の人は避難 ・中央公民館や体育館へ避難 (ポータルサイトで人数確認。入れない時は近隣の設備へ) (法事センターや他学校) 基準となる印を共有できる	避難指示	氾濫危険情報	●危険な場所から全員避難
5			緊急安全確保	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報	●命の危険 直ちに安全確保!

- ・自治会から、住民への連絡網が確立されているか。(協力体制の確認) (有線がないので)
- ・消防団と自治会との連絡、連携を明確にする
- ・訓練の実施が必要と感じた
- ・真田中央公民館がダメな時の避難場所
- ・自主防災組織が機能しているか不明
- ・自主避難者の確認、居る居ないの確認が難しい

松尾さん
☆前日のアイデア 行政へ要望いただき可能ではあるとのこと
今後の設置の計画を進めていくという前提で